

## 記入上の注意

この認定申請書は、保護者が次の点に注意のうえ記入し、花巻市（施設（事業者）を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出して下さい。なお、その家庭から2人以上の児童の申請を同時に行う場合は、それぞれの児童ごとに申請書を提出して下さい。

### 【表面】

- 1 「申請に係る小学校就学前子ども」の欄は「氏名」にふりがなを付し、「性別」の欄は該当するものを○で囲んで下さい。
- 2 「障害者手帳等の有無」の欄は、申請児童に係る障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等）又は特別児童扶養手当受給者証の有無について、該当するものを○で囲んで下さい。
- 3 「保護者住所・連絡先」欄の（連絡先）については、連絡先が複数ある場合は、連絡のつきやすい順に全て記入して下さい。
- 4 「認定者番号」の欄は、申請児童が既に子どものための教育・保育給付（施設型給付費・地域型保育給付費）認定を受けている場合は、当該申請児童に係る支給認定証番号を記入して下さい。
- 5 ①「世帯の状況」の欄は、申請児童本人以外の申請児童の両親（児童と同居・別居の別を「備考」に記入して下さい。）及び同居している親族等の全員について記入するとともに、「性別」及び「前年度分（当年度分）市町村民税課税の有無」欄は該当するものを○で囲んで下さい。また、世帯員の中で申請児童の他に子どものための教育・保育給付（施設型給付費・地域型保育給付費）認定を受けている児童がいる場合は、当該児童に係る支給認定証番号を「備考」に記入して下さい。  
なお、利用料の決定のために必要な書類をあわせて添付して下さい。

### 【裏面】

- 6 ②「利用を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち、施設（事業者）の利用を希望する期間を記入して下さい。（「保育の希望の有無」の欄で「有」を○で囲んだ場合は、保育の利用を必要とする理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入して下さい。）
- 7 ②「利用を希望する施設（事業者）名」の欄は、希望する順位に従い施設（事業者）名を記入し、また、その施設（事業者）を希望する理由（例えば、既に兄弟が利用しているため、延長保育（預かり保育）を実施しているため、距離が近いため等）を記入して下さい。
- ※ ③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の「保育の希望の有無」の欄で「有」を○で囲んだ場合に記入して下さい。（「無」を○で囲んだ場合は記入の必要はありません。）
- 8 保育の認定基準は、次の表のとおりです。

#### 保育の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、保護者のいずれも（保護者と別居している場合には児童の面倒を見ている方）が次のいずれかの事情にある場合です。

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 就労等（家庭外労働） | 児童の保護者が、通常家庭の外で仕事をしているため、その児童の保育ができない場合  |
| （家庭内労働）        | 児童の保護者が、通常家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしているため、その児童の保育ができない場合  |
| (2) 妊娠・出産      | 児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合   |
| (3) 疾病・障がい     | 児童の保護者が病気、負傷、心身に障がいがあり、その児童の保育ができない場合  |
| (4) 介護等        | 児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障がいのある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合 |
| (5) 災害復旧       | 火災、風水害や地震などの災害により、家屋を失う又は破損したため、その復旧の間児童の保育ができない場合   |
| (6) 求職活動       | 児童の保護者が求職活動（起業準備を含む）を行っているため、その児童の保育ができない場合  |
| (7) 就学         | 児童の保護者が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）のため、その児童の保育ができない場合   |
| (8) 育児休業       | 保護者が育児休業をする場合で、育児休業に係る児童以外の児童が保育所等を利用しており、育児休業の間に引き続き保育所等を利用することが必要である場合   |

- 9 ③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の①「世帯の状況」の欄に記入した児童の世帯員のうち、父母それぞれについて、児童を保育できない理由が8の表(1)～(8)に掲げるいずれの場合に該当するかを判断して、該当する全ての口にチェック（）し、かつ、その具体的な状況について、同欄に記入して下さい。

なお、(1)～(8)以外で児童を保育できない理由がある場合は「その他」にチェック（）し、内容を（ ）内に記入して下さい。

- ※ 具体的な状況について、例えば、(1)に該当する場合は勤務先・就労時間・就労日数・通勤時間・経路・手段等、(2)では出産（予定）日や産後の母の状況等、(3)では傷病名や治療見込期間、障がいの程度等、(4)では介護している高齢者の介護度や看護している病人の傷病名や治療見込期間等、(5)では災害の程度・復旧見込み期間等、(6)では求職活動状況等、(7)では就学先・就学期間・就学時間・就学日数等、(8)では育児休業に係る児童・育児休業期間等、その他の場合はその具体的な状況を記入して下さい。
- 10 ③「家庭の状況」の欄は、該当する口にチェック（）し、ひとり親家庭の場合は、該当する事由に○をして下さい。

### 【留意事項】

教育・保育給付認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、

- ・保育の必要性の認定基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- ・希望者が多数いるため希望する施設等に入所できない場合
- ・保育の必要性の認定基準の該当事由によっては利用期間の希望に添えない場合がありますので、あらかじめご承知下さい。